

施策ロジックモデル(12-1)

政策評価 (事前分析表)				行政事業レビュー				
政策 目標	施策 目標	施策の概要 (最終アウトカム)	達成目標 (中間アウトカム)	成果目標 (アウトカム)	成果指標 (アウトカムを図るための指標)	活動指標 (アウトプットを図るための指標)	事業名 (達成手段)	シート番号
			測定指標 (達成目標を図るための指標)					
12 文化による心豊かな社会の実現								
12-1 芸術文化の振興								
		優れた芸術文化への支援、新進芸術家の人材育成、子供の芸術文化体験活動、地域における芸術文化活動の推進等を通じて、我が国の芸術文化活動水準の向上を図るとともに、国民全体が、芸術文化活動に参加できる環境を整備する。	1 我が国の芸術家や芸術団体による、優れた芸術文化活動が活発に行われるような環境を醸成する。 ①日本の誇りとして「文化・芸術」を挙げる国民の割合 ②我が国の主要芸術団体における自主公演数					
				文化功労者年金を対象者全員に支給すること	文化功労者年金の「受給者数」	文化功労者年金の「支給者数」	文化功労者年金の支給に必要な経費	0340
				【トップレベルの芸術団体による舞台芸術の創造に対する重点的な支援】 我が国の舞台芸術団体の公演実施の活性化を図る。 目標値は、過去の実績の平均値を基に設定。 【我が国の芸術文化の振興における課題解決に資する取組】 文化芸術振興上の課題解決を着実に推進する。	①本事業の各実施団体の業務成果報告に記載された課題解決目標達成率の平均値 ②我が国の主要芸術団体における自主公演数	①支援事業数 ②質の高い支援審査等のための公演調査の実施件数 ③支援事業数	舞台芸術創造力向上・発信プラン	0341
				①今年度の参加公演・作品参加数が、芸術祭の過去3年間の参加公演・作品申込数の平均となることを目標とする。 ②芸術選奨歴代受賞者のうち過去3か年における文化勲章・文化功労者・紫綬褒章・日本芸術院賞受賞者数を目標とする。	①芸術祭参加公演・作品申込数 ②芸術選奨は、芸術選奨歴代受賞者のうち文化勲章・文化功労者・紫綬褒章・日本芸術院賞受賞者数。	①芸術祭参加公演・作品参加数 ②顕彰対象者数	芸術祭・芸術選奨	0342
				①国内の邦画・洋画における上映数の割合について、邦画が洋画を上回ることを成果目標とする。 ②日本映画情報システムの利用者数が過去3年間の平均値を上回ることを成果目標とする。 ③全国ロケーションデータベースの利用者数が過去3年間の平均値を上回ることを成果目標とする。	①日本での映画公開本数における日本映画の占める割合(直近3年の平均値を目標値とする) ②過去3年間のシステム利用者数の平均値 ③過去3年間のシステム利用者数の平均値	①3大映画祭など海外映画祭への出品支援数 ②映画製作への支援件数	日本映画の創造・交流・発信	0345
				研修後の映画製作関連業務への従事者数が研修後従事者数の半数を超えることを成果目標とする。	研修後の映画製作関連業務への従事率(研修後従事者数/実地研修数)。	映画制作現場における各職種の実地研修者数	若手映画作家等の育成	0346
				①過去3か年における文化庁メディア芸術祭への応募数の平均値 ②過去3か年におけるメディア芸術データベース年間累計ページビュー数の平均値	①文化庁メディア芸術祭への応募数 ②メディア芸術データベース年間累計ページビュー数	①文化庁メディア芸術祭への来場者数 ②メディア芸術データベースにおいて登録されているデータ数	メディア芸術の創造・発信	0347
				過去3年間に研修後のメディア芸術製作関連業務への従事率の平均値	研修後のメディア芸術製作関連業務への従事率(研修後従事者数/研修参加者数)。	事業における支援団体数	メディア芸術の人材育成	0348
				功績顕著な芸術家の優遇及び芸術の発展に寄与するため、日本芸術院会員の定員の充足を図る。	日本芸術院会員数 (日本芸術院令(昭和24年政令第281号)第2条第1項の規程に基づき定員120名以内)	所蔵作品公開展示及び会員特別講演会の集客数	日本芸術院会員年金の支給等に必要な経費	0350

施策ロジックモデル(12-1)

政策評価 (事前分析表)				行政事業レビュー				
政策 目標	施策 目標	施策の概要 (最終アウトカム)	達成目標 (中間アウトカム)	成果目標 (アウトカム)	成果指標 (アウトカムを図るための指標)	活動指標 (アウトプットを図るための指標)	事業名 (達成手段)	シート番号
			測定指標 (達成目標を図るための指標)					
12 文化による心豊かな社会の実現								
12-1 芸術文化の振興								
				美術品収蔵庫及び本館において下記6項目の向上・改善を図ることを成果目標とする。 ①エレベーターの設置による作業負担の軽減及び安全性の向上。 ②監視カメラ及び入退室管理システムの設置によるセキュリティー機能の向上。 ③空調管理設備の設置による作品保管環境の向上・改善。 ④外構設置による上野恩賜公園の景観保護。 ⑤内装等の施工による適切な保管環境の更なる確保 ⑥本館講堂等空調設備の更新による展示作品へのダメージの軽減及び円滑な業務の遂行。	美術品収蔵庫機能追加及び講堂等空調設備更新により向上・改善される項目数	美術品収蔵庫の機能を追加及び本館講堂等の空調設備を更新する。 (当初見込み:当該年度における工事契約の予定件数)	日本芸術院施設整備費	0434
			独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価について、すべての項目で標準評価以上の評価を受ける。	平成26年度以降は、文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合)	①収蔵作品展・企画展・フィルムセンター展示・フィルムセンター上映会実施日数 ②調査研究 ③収蔵作品展・企画展・フィルムセンター展示・フィルムセンター上映会入館者数	独立行政法人国立美術館運営費交付金に必要な経費	0351	
			独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価のうち、施設・設備に関するものについて、すべての項目で標準評価以上の評価を受ける。	平成26年度以降は、文部科学大臣決定に基づく評価基準(大項目におけるB評価以上の割合)	施設整備の件数	独立行政法人国立美術館施設整備に必要な経費	0352	
			独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価について、すべての項目で標準評価以上の評価を受ける。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。	○伝統芸能の公開・伝統芸能の保存と振興を図ることを目的とした主催公演数 ○現代舞台芸術の公演・現代舞台芸術の振興と普及を図ることを目的とした主催公演数 ○伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修・研修生の修了者数 ○展示公開来場者数(伝統芸能分野)	独立行政法人日本芸術文化振興会運営費交付金に必要な経費	0353	
			独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価のうち、施設・設備に関するものについて、すべての項目で標準評価以上の評価を受ける。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。 中間目標の期間(平成25年度～平成29年度)	施設整備の実施件数	独立行政法人日本芸術文化振興会施設整備に必要な経費	0354	

施策ロジックモデル(12-1)

政策評価 (事前分析表)				行政事業レビュー				
政策 目標	施策 目標	施策の概要 (最終アウトカム)	達成目標 (中間アウトカム)	成果目標 (アウトカム)	成果指標 (アウトカムを図るための指標)	活動指標 (アウトプットを図るための指標)	事業名 (達成手段)	シート番号
			測定指標 (達成目標を図るための指標)					
12 文化による心豊かな社会の実現								
12-1 芸術文化の振興								
		2 我が国の芸術文化の将来を担う、世界に通用する優れた新進芸術家等を輩出する。						
		①新進芸術家海外研修制度により研修した者で、国内外で活躍している者の輩出		①今年度の参加公演・作品参加数が、芸術祭の過去3年間の参加公演・作品申込数の平均となることを目標とする。 ②芸術選奨歴代受賞者のうち過去3か年における文化勲章・文化功労者・紫綬褒章・日本芸術院賞受賞者数を目標とする。	①芸術祭参加公演・作品申込数 ②芸術選奨は、芸術選奨歴代受賞者のうち文化勲章・文化功労者・紫綬褒章・日本芸術院賞受賞者数。	①芸術祭参加公演・作品参加数 ②顕彰対象者数	芸術祭・芸術選奨	0342
			研修後の映画製作関連業務への従事者数が研修者数の半数を超えることを成果目標とする。	研修後の映画製作関連業務への従事率(研修後の従事者数/実地研修数)。	映画制作現場における各職種の実地研修者数		若手映画作家等の育成	0346
			過去3年間に於ける研修後のメディア芸術製作関連業務への従事率の平均値	研修後のメディア芸術製作関連業務への従事率(研修後従事者数/研修参加者数)。	事業における支援団体数		メディア芸術の人材育成	0348
			(1)グローバルに活躍する新進芸術家等の育成・多くの新進芸術家等に研修・発表等の機会を提供し、その育成を図る。 ・アートマネジメントに係る専門的知識、実践的能力の習得につながる研修・講座等を実施し、アートマネジメント人材の養成・能力向上を図る。 事業を開始した平成25年度の実績を基に設定。 (2)文化芸術による子供の育成事業 ・子供たちの豊かな心や感性、創造性を育む効果を高い水準(90%以上)に維持すること。	(1)グローバルに活躍する新進芸術家等の育成 ・実施した研修・発表の機会に参加した新進芸術家等の毎年度延べ人数 ・大学を活用した文化芸術推進事業において支援した研修・講座等に参加した人材の毎年度延べ人数 (2)文化芸術による子供の育成事業 ・子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞・体験することにより「豊かな心や感性、創造性を育むことができた」と回答した開催校の割合	(1)グローバルに活躍する新進芸術家等の育成 ・次代の文化を創造する新進芸術家育成事業等の実施件数 ・大学を活用した文化芸術推進事業の支援事業数 (2)文化芸術による子供の育成事業 ・子供たちが文化芸術に触れられる機会の提供(学校等における巡回公演数) ・子供たちが文化芸術に触れられる機会の提供(学校等への芸術家派遣箇所数)		新進芸術家等の人材育成	0349
		3 子供たちが優れた芸術文化に触れることにより、豊かな感性や創造性を育む。						
		①日本の誇りとして「文化・芸術」を挙げる国民の割合 ②文化芸術の鑑賞活動や創作活動等を行う国民の割合 ③子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞・体験することにより「舞台芸術への関心を高めることができた」と回答した学校の割合	全国高等学校総合文化祭の全都道府県での開催	全国高等学校総合文化祭の開催県の数	○全国高等学校総合文化祭への参加校数 ○全国高等学校総合文化祭への参加人数		全国高等学校総合文化祭	0344
			(1)グローバルに活躍する新進芸術家等の育成・多くの新進芸術家等に研修・発表等の機会を提供し、その育成を図る。 ・アートマネジメントに係る専門的知識、実践的能力の習得につながる研修・講座等を実施し、アートマネジメント人材の養成・能力向上を図る。 事業を開始した平成25年度の実績を基に設定。 (2)文化芸術による子供の育成事業 ・子供たちの豊かな心や感性、創造性を育む効果を高い水準(90%以上)に維持すること。	(1)グローバルに活躍する新進芸術家等の育成 ・実施した研修・発表の機会に参加した新進芸術家等の毎年度延べ人数 ・大学を活用した文化芸術推進事業において支援した研修・講座等に参加した人材の毎年度延べ人数 (2)文化芸術による子供の育成事業 ・子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞・体験することにより「豊かな心や感性、創造性を育むことができた」と回答した開催校の割合	(1)グローバルに活躍する新進芸術家等の育成 ・次代の文化を創造する新進芸術家育成事業等の実施件数 ・大学を活用した文化芸術推進事業の支援事業数 (2)文化芸術による子供の育成事業 ・子供たちが文化芸術に触れられる機会の提供(学校等における巡回公演数) ・子供たちが文化芸術に触れられる機会の提供(学校等への芸術家派遣箇所数)		新進芸術家等の人材育成	0349

施策ロジックモデル(12-1)

政策評価 (事前分析表)				行政事業レビュー				
政策 目標	施策 目標	施策の概要 (最終アウトカム)	達成目標 (中間アウトカム)	成果目標 (アウトカム)	成果指標 (アウトカムを図るための指標)	活動指標 (アウトプットを図るための指標)	事業名 (達成手段)	シート番号
			測定指標 (達成目標を図るための指標)					
12 文化による心豊かな社会の実現								
12-1 芸術文化の振興								
			4 地域の住民が質の高い芸術文化活動に触れられる環境を形成する。					
		①日本の誇りとして「文化・芸術」を挙げる国民の割合 ②地域の文化的環境に対して満足している国民の割合 ③文化芸術の鑑賞活動や創作活動等を行う国民の割合		国民文化祭の全都道府県での開催	国民文化祭の開催県の数	開催年度毎の参加出演者数の実績数 当初見込は開催年により事業形態数、開催日数に多寡があるので記載不可。	国民文化祭	0343
				①地域の住民が質の高い芸術文化活動に触れられる環境の醸成を図る。 ②地域の住民が質の高い芸術文化活動に触れられる環境の醸成を図る。 ③3か年実績の平均値を参考に設定 ④3か年実績の平均値を参考に設定 ⑤3か年実績の平均値を参考に設定	①採択事業に係る一館当たりの平均入場率 ②採択事業に係る一館当たりの平均主催公演数 ③特別支援事業の採択館での人材養成事業において、研修を受けたアートマネジメント人材の延人員 ④特別支援事業の採択館において実施された普及啓発事業の入場者数 ⑤共同制作事業により制作された作品数	①劇場・音楽堂等活性化事業補助金における特別支援事業の採択件数 ②劇場・音楽堂等活性化事業補助金における共同制作支援事業の採択件数 ③劇場・音楽堂等活性化事業補助金における活動別支援事業の採択件数 ④劇場・音楽堂等活性化事業補助金における劇場・音楽堂等間ネットワーク構築支援事業の採択件数	劇場・音楽堂等活性化事業	0355
			【先進的文化芸術創造活用拠点形成事業】 平成33年度までにすべての採択事業において採択事業者が設定した達成目標に対する達成率が100%となることを目指す。 【文化芸術創造拠点形成事業】 平成32年度までに全ての採択事業の参加者目標に対する実績値の割合が80%を超えることを目指す 【文化芸術創造拠点形成事業(地域における文化施策推進体制の構築促進)】 平成33年度まで採択事業において構築された体制への5名以上の専門人材の配置が維持されることを目指す	【先進的文化芸術創造活用拠点形成事業】 採択事業者が設定した目標値に対する達成率の平均値。 【文化芸術創造拠点形成事業】 採択事業のうち参加者数の目標値に対する実績値の割合が80%を超える事業の割合 【文化芸術創造拠点形成事業(地域における文化施策推進体制の構築促進)】 採択事業において構築された体制に配置された専門人材の数	【先進的文化芸術創造活用拠点形成事業】 採択事業数 【文化芸術創造拠点形成事業】 採択事業数	文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業 (平成28年度までは文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業として実施)	0356	

施策ロジックモデル(12-2)

政策評価 (事前分析表)				行政事業レビュー				
政策 目標	施策 目標	施策の概要 (最終アウトカム)	達成目標 (中間アウトカム)	成果目標 (アウトカム)	成果指標 (アウトカムを図るための指標)	活動指標 (アウトプットを図るための指標)	事業名 (達成手段)	シート番号
			測定指標 (達成目標を図るための指標)					
12 文化による心豊かな社会の実現								
12-2 文化財の保存及び活用の充実								
<p>貴重な国民的財産である文化財を適切に保存し、次世代へ継承するとともに、積極的な公開・活用を通じて、広く国民が文化財に親しみ、その価値への理解を深めるようにする。</p>			1 価値が十分認識されないまま失われつつある近代の文化財など、保存が必要な文化財の状況を適切に把握し、その結果に基づき重要な文化財について積極的に指定等を行う。					
			①近代(明治元年以降)の重要文化財(建造物)の件数	毎年度の滅失・毀損による国指定文化財の解除件数を0にする。	滅失・毀損による国指定文化財の解除件数	講習会の実施件数	文化財保護共通費	0357
			②近代(明治元年以降)の登録有形文化財(建造物)の件数	文化財の保存活用における調査実績の活用件数	実施した調査研究事業及び講習会のうち、調査結果等が文化財の保存や活用に活かされた件数	調査研究事業及び講習会の実施件数	有形文化財	0358
				①毎年度の滅失・毀損による国指定文化財の解除件数を0にする。 ②記録映画の配布先で開架・閲覧等で活用された割合を100%にする。(アンケートにより確認) ③国指定文化財の盗難件数を0にする。 ④歴史文化基本構想の策定件数100件を目指す	①滅失・毀損による国指定文化財の解除件数 ②記録映画の配布先での活用度 ③国指定文化財の盗難件数 ④歴史文化基本構想の策定済み件数	①無形文化財「わざ」の理解促進事業 記録映画の作成本数 ②防災等に関する研修会 研修会の実施回数 ③歴史文化基本構想普及促進研修実施回数	文化財保護対策の検討等	0360
				保存修復が必要な国指定等文化財のうち、国庫補助事業によって修復が実施され、文化財の適切な保存活用が図られている割合を90%以上とする。	国庫補助事業により適切な保存活用が図られた国指定等文化財の割合	補助事業実施件数	国宝・重要文化財等の保存整備等	0367
			2 文化財の適切な保存に配慮しつつ、積極的な公開・活用を行い、広く国民が文化財に親しむ機会の充実を図る。					
			①文化庁が主催する文化財関連展覧会の来場者数	平成36年度までに、記録保存措置件数を81件まで引き上げる。	記録保存措置件数	変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成を実施する。(記録保存措置件数)	無形文化財	0359
			②文化遺産オンラインへの訪問回数	①登録美術品の公開契約美術館における公開件数 ②重要文化財等公開促進事業公開館数(累計)/公開承認施設 ③ミュージアム・エドゥケーター研修修了者在籍館数/社会教育調査対象館数 ④ミュージアム・マネジメント研修修了者在籍館数/社会教育調査対象館数	①毎年度の公開実績件数/毎年度の公開計画件数 ②重要文化財等公開促進事業における国宝及び重要文化財の公開館数 ③毎年度の博物館のミュージアム・エドゥケーター研修に関する研修修了者在籍館数 ④毎年度の博物館のマネジメント研修に関する研修修了者在籍館数	①博物館の管理・運営に関する研修研修開催日数 ②重要文化財等公開促進事業採択件数 ③登録美術品制度累積登録美術品件数 ④「美術作品出合いの広場」事業公開作品数	美術館・博物館活動の充実	0361
				①文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針)に基づき、平成32年度の訪問回数を200万回とすることを旨とし、毎年およそ10万回ずつ増加させる。 ②年度内の選定保存技術シンポジウムへの来場者総数を過去3ヶ年平均程度以上とする。 ③年度内の文化財購入文化財展等への来場者総数を過去3ヶ年平均程度以上とする。 ④年度内の発掘された日本列島展への来場者総数を過去3ヶ年平均程度以上とする。 ⑤年度内の講習会等への参加者総数を、過去3ヶ年の平均程度以上とする。	①文化遺産オンラインへの訪問回数 ②選定保存技術シンポジウムの来場者数 ③文化財購入文化財展等の来場者数(新指定展は除く) ④発掘された日本列島展への来場者数 ⑤講習会等への音楽教員の参加者数	①文化遺産オンラインの情報掲載件数 ②選定保存技術シンポジウムの開催回数 ③文化財購入文化財展等の開催回数 ④「発掘された日本列島展」の開催館数 ⑤伝統音楽普及促進事業の実施件数	鑑賞・体験機会等充実のための事業推進	0362
				アイヌ文化フェスティバルにおいて、直近3箇年平均参加人数以上の参加を目指す。	アイヌ文化の振興(アイヌ文化フェスティバルの延べ参加人数)	アイヌ文化交流事業(国内・国際)の助成件数	アイヌ関連施策の推進	0363

施策ロジックモデル(12-2)

政策評価 (事前分析表)				行政事業レビュー				
政策 目標	施策 目標	施策の概要 (最終アウトカム)	達成目標 (中間アウトカム)	成果目標 (アウトカム)	成果指標 (アウトカムを図るための指標)	活動指標 (アウトプットを図るための指標)	事業名 (達成手段)	シート番号
			測定指標 (達成目標を図るための指標)					
12 文化による心豊かな社会の実現								
12-2 文化財の保存及び活用の充実								
				国内外での散逸や劣化、き損を防ぐため買取を行った文化財の8割について、公開等により活用する。	活用した国有品の割合 (国有文化財の活用件数/国有文化財の件数)	買取物件数	国宝重要文化材等の買上げ	0364
				経年劣化等が進み、公開が困難な文化財について、固有の価値を再現した模写模造を製作し、技術の継承を行うとともに、これを公開活用することで、文化財を保護し、併せて活用を図る。	成果物の一般公開(貸与等を含む)件数割合	模写模造件数/年	模写模造	0365
				①国所有重要文化財(美術工芸品)の修理完了件数 ②前年度の入場者数を目標とする。 ③前年度の見学者数を目標とする。 ④前年度の見学者数を目標とする。	①国所有重要文化財(美術工芸品)の修理完了予定件数 ②平城宮跡への来場者数 ③高松塚古墳壁画仮設修理施設作業室公開の見学者数 ④キトラ古墳壁画一般公開の見学者数	①国有美術工芸品保存修理 国が保有する美術工芸品の保存・修理数 ②平城宮跡等管理 平城宮跡の管理面積 ③高松塚古墳壁画保存・活用の推進 修理作業室の公開の回数 ④キトラ古墳保存修理等 キトラ古墳壁画の一般公開の回数	文化財管理及び保存活用等	0366
				前年度公有地化面積の割合※将来的には80%の公有地化を目標とする。	史跡指定面積に対する公有地化面積の割合	地方公共団体に対する補助件数	史跡等の買上げ	0368
				毎年度、当初見込の面積を確実に取得していく	特別史跡平城宮跡及び飛鳥・藤原宮跡地の全史跡指定地の国有地化面積	特別史跡平城宮跡及び飛鳥・藤原宮跡地の史跡指定地の買上げ面積	平城及び飛鳥・藤原宮跡等の買上げ	0369
				前年度の成果実績を目標とする。	平城宮跡への来場者数	特別史跡平城宮跡、特別史跡キトラ古墳等を良好な状態で保全するための各種工事及び整備事業の実施	平城宮跡地等整備費	0370
				独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価について、すべての項目で標準評価以上の評価を受ける。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。	①緊急性の高い収蔵品等の修理件数 ②東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館における平常展入場者数合計 ③中核的文化財担当者の研修・若手研究者の育成として奈良文化財研究所において実施した文化財担当者研修の受講者数。 ④中核的文化財担当者の研修・若手研究者の育成として東京文化財研究所において実施した保存担当芸員研修の受講者数。	独立行政法人国立文化財機構運営費交付金に必要な経費	0371
				独立行政法人通則法に基づく主務大臣による業務実績の評価のうち、施設・設備に関するものについて、すべての項目で標準評価以上の評価を受ける。	標準評価(B評価)以上の評価を受けた項目の割合。	施設整備の実施件数	独立行政法人国立文化財機構施設整備に必要な経費	0372
				本事業で整備した施設をすべて公開に供する	本事業で整備した施設のうち、公開に供した割合	補助事業実施件数	文化財建造物等を活用した地域活性化事業	0373
				①実施計画の達成率80%以上となる地方公共団体の割合80%以上を目指す。 ②歴史文化基本構想の策定件数100件を目指す。 ③モデル事業実施地域の外国人宿泊客数を平成32年度までに平成27年度比2倍を目指す。	①実施計画の達成率80%以上となる地方公共団体の割合 ②歴史文化基本構想の策定済み件数 ③モデル事業実施地域の外国人延べ宿泊者数	①地域文化遺産活性化事業 補助事業実施件数 ②世界文化遺産活性化事業 補助事業実施件数 ③歴史文化基本構想策定支援事業 補助事業実施件数 ④日本の歴史・伝統文化情報発信推進事業 補助事業実施件数	文化遺産総合活用推進事業	0374
				推薦資産の世界遺産リストへの確実な登録を推進する	世界文化遺産登録件数	世界遺産条約関係会議及び暫定一覧表記載案件に関する国際専門家会議等への出席回数	世界遺産普及活用・推薦のための事業推進	0375

施策ロジックモデル(12-2)

政策評価 (事前分析表)				行政事業レビュー				
政策 目標	施策 目標	施策の概要 (最終アウトカム)	達成目標 (中間アウトカム)	成果目標 (アウトカム)	成果指標 (アウトカムを図るための指標)	活動指標 (アウトプットを図るための指標)	事業名 (達成手段)	シート番号
			測定指標 (達成目標を図るための指標)					
12 文化による心豊かな社会の実現								
12-2 文化財の保存及び活用の充実								
				伝統文化の確実な継承と子供たちの豊かな人間性の涵養(かんよう)を成果目標として、教室に参加した児童・生徒の多くの意識が肯定的に変化することを旨とする。	教室に参加した子供の意識調査のうち、伝統文化への興味・関心、参加意欲、生活態度の肯定的変化について80%以上となった調査項目数(全8項目)	事業実施団体(教室)数	伝統文化親子教室事業	0376
				①各補助事業者が事業を実施する際に設定する当該事業により得られる効果について、80%以上の達成度を旨とする ②「日本遺産を通じた地域活性化計画」において定めた定量的な成果指標について、達成率80%以上となる地方公共団体について80%以上を旨とする。	①各補助事業者に対するアンケート調査 ②実施計画の達成率80%以上となる地方公共団体の割合	日本遺産認定件数	日本遺産魅力発信推進事業	0377
				事業実施者を構成する美術館・歴史博物館への支援実績	社会教育調査対象館(918館)のうち、事業実施館数の割合	—	地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業	0378
				各補助事業者がハード整備を行う際に設定する当該事業により得られる効果について、80%以上の達成度を旨とする	各補助事業者に対するアンケート調査	補助事業実施件数	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業	0379
				公開・活用に係る事業(体験学習会・講演会・シンポジウム・公開講座等)について、80%以上の満足度を旨とする	各補助事業者に対するアンケート調査	補助事業実施件数	地域の特色ある埋蔵文化財活用事業	0380
				1種類の資材における年間調査件数(年間調査件数:23件=47都道府県/2年)	1種類の資材における全国の年間調査進捗率(都道府県調査実施件数/年間調査件数23件)	委託事業実施件数	国産良質材使用推進・供給地活性化事業	0381
				重点支援の結果を踏まえ観光拠点の整備に寄与する。	観光拠点形成整備件数	補助件数	観光拠点形成重点支援事業	新29-0036
				現状の課題やニーズを把握するため、実証実験を行う。	実証実験の実施数	調査報告書数	ナイトミュージアムプロジェクトの推進	新29-0037
				本事業で整備した施設をすべて公開に供する	本事業で整備した施設のうち、公開に供した割合	補助事業実施件数	美しい日本探訪のための文化財建造物魅力向上促進事業	新29-0038

施策ロジックモデル(12-3)

政策評価 (事前分析表)				行政事業レビュー					
政策 目標	施策 目標	施策の概要 (最終アウトカム)	達成目標 (中間アウトカム)	成果目標 (アウトカム)	成果指標 (アウトカムを図るための指標)	活動指標 (アウトプットを図るための指標)	事業名 (達成手段)	シート番号	
			測定指標 (達成目標を図るための指標)						
12 文化による心豊かな社会の実現									
12-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進									
<p>芸術文化振興、文化財保護等の分野における国際文化交流の取組を推進することにより、我が国の文化芸術活動の水準を向上し、文化を通じて国際社会に貢献し、諸外国と相互理解の推進を図る。</p>				<p>1 我が国の芸術家や芸術団体による海外公演・ワークショップや、海外の芸術家・芸術団体と我が国の芸術家・芸術団体が共同制作公演・意見交換等によるネットワーク構築などを行うことにより、文化芸術振興及び国際文化交流を推進する。</p>					
<p>①当該年度に指名された文化交流使の海外での活動回数</p> <p>②文化交流使の指名数・派遣地域数(人・団体、地域)</p> <p>③アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業の補助団体における滞在芸術家数(人)</p> <p>④アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業支援団体数(件)</p>				<p>①政策的意義・波及効果の高い国際会議等へ参加する</p> <p>②被招へい者が滞在中に積極的に活動を行う</p>	<p>①第4次基本方針で重点地域と位置付けている東アジア各国(中韓+ASEAN10か国=12か国)のうち、意見交換を行った国数</p> <p>②活動回数</p>	<p>①参加する国際会議等の回数</p> <p>②招聘者数</p>	<p>国際文化ネットワークの構築及び文化多様性の保護・促進への対応</p>	0383	
				<p>文化交流使の活動が、基準を上回って活発に行われること</p>	<p>文化交流使の活動回数</p>	<p>①文化交流使の指名数</p> <p>②文化交流使の派遣地域数</p>	<p>芸術家・文化人等による文化発信推進事業－文化庁「文化交流使」の派遣等－</p>	0384	
				<p>本事業において実施した文化イベントの過去3年間の平均値の来場者数を得ること</p>	<p>本事業において実施した文化イベントの来場者数</p>	<p>事業実施件数</p>	<p>国際文化交流・協力推進事業</p>	0385	
				<p>各地域に滞在して活動する外国人芸術家等の数を前年度実績を基準として確保すること</p>	<p>滞在活動を行う海外芸術家等の数</p>	<p>補助の件数</p>	<p>文化芸術の海外発信拠点形成事業</p>	0382	
				<p>①東アジア文化都市における交流事業プログラムが20件(2014年、2015年の2都市の26年度実績を基準)以上行われること②本事業において実施するプログラムが3分野(メディア芸術・舞台芸術・文化遺産を基本とする)以上行われること</p>	<p>①実施プログラム数</p> <p>②実施プログラム数</p>	<p>①東アジア文化都市中韓交流事業実施(都市)件数</p> <p>②東アジア芸術家・文化人等交流協力事業実施件数</p>	<p>東アジア文化交流推進プロジェクト事業</p>	0387	
<p>2 海外の文化遺産保護の拠点となる機関と連携し、保存修復等を通じた人材養成を実施することにより、海外の文化遺産の保護に係る国際的な協力を推進する。</p>									
<p>①現地参加者に対するアンケート調査(自国での文化遺産保存修復の推進に役立ったと回答した割合)</p> <p>②ワークショップ等への相手国要人の出席割合(要人出席のワークショップ等の回数/ワークショップ等の開催回数)</p>				<p>①文化遺産国際協力拠点交流事業における研修参加者の有益度指数(肯定的回答の割合)が95%以上となることを目標とする。</p> <p>②文化遺産国際協力拠点交流事業におけるワークショップ等への相手国政府要人の出席割合が、80%以上となることを目標とする。</p>	<p>①アンケート調査で研修が役立ったと回答した割合</p> <p>②ワークショップ等への相手国要人の出席割合(要人出席のワークショップ等の回数/ワークショップ等の開催回数)</p>	<p>文化遺産国際協力拠点交流事業を通じた人材育成拠点数</p>	<p>文化財の国際協力の推進</p>	0386	

施策ロジックモデル(12-4)

政策評価 (事前分析表)				行政事業レビュー				
政策 目標	施策 目標	施策の概要 (最終アウトカム)	達成目標 (中間アウトカム)	成果目標 (アウトカム)	成果指標 (アウトカムを図るための指標)	活動指標 (アウトプットを図るための指標)	事業名 (達成手段)	シート番号
			測定指標 (達成目標を図るための指標)					
12 文化による心豊かな社会の実現								
12-4 文化芸術振興のための基盤の充実								
各地域における文化芸術振興に資する取組を促進するとともに、著作権の適切な保護と公正な利用、国語の改善・普及、日本語教育の充実、宗教法人の適正な管理運営を図る。			1 地域の特色に応じた優れた文化芸術創造都市の取組の支援を通じ、都市やその関係者による地域の文化芸術の振興を図る。					
		①創造都市ネットワーク日本(CCNJ)の加盟自治体数	・前年度に実施した調査の活用(100%) ・平成32年度までにCCNJへの参加自治体数について170自治体を目指す	・結果が政策・施策の検討等に活用された調査数 ・国内の創造都市に関するネットワーク組織である「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」参加自治体数	・基本方針を踏まえた施策の企画・立案のために行う調査研究など事業の件数 ・文化芸術創造都市モデルの構築及びネットワークの構築・強化のために行う事業の数		文化政策企画立案 文化芸術創造都市の推進	0389 0390
			歴史的・文化的価値のある我が国の貴重な文化関係資料①テレビ・ラジオ番組の脚本・台本②写真フィルム③音楽関係資料の3分野のデータ化進捗状況を成果目標とする。	3分野の実践的調査研究における収集又はデータ化した件数	実践的調査研究を実施する事業数		文化関係資料のアーカイブの構築に関する調査研究	0391
		①資料館が受け入れる建築資料(設計図面:推定70,000件)について、活用に向けたデジタル化を実施する。 ②過去3年間の平均来場者数を目指す。	①資料館が受け入れる建築資料(設計図面:推定70,000件)について、活用に向けたデジタル化を実施する。 ②過去3年間の平均来場者数を目指す。	①受入れ資料件数に対する累積デジタル化件数 ②収集・調査の成果に基づく展示会の来場者数	①近代建築資料の収集・調査事業等を実施する。 ②資料館の活動により所在が判明し、受入方針が確定した資料14件の寄贈契約締結を実施する。 ③近現代建築資料の収集・調査事業等の成果に基づく展示・図録作成等を実施する。		近現代建築資料の収集・保存	0397
		2 著作権等に関する理解が深まり、著作権の適切な保護と利用が促進される。						
		①著作権講習会受講者の理解度 ②著作権講習会の受講者数	①著作権講習会の受講者の理解度が90%以上となることを目標とする。 ②過去3年間の実績値の平均数を基準とし、それを上回ることを目標としている。 ③侵害発生国・地域におけるトレーニングセミナー受講者の有益度指数(肯定的回答の割合)が90%以上となることを目標とする。 ④WIPOへの拠出金を通じて、アジア太平洋における著作権に関する世界的所有権機関条約(WCT)への加盟国数を増加させる。	①著作権講習会受講者の理解度(受講者アンケートで理解が深まったと回答した率) ②著作権講習会の受講者数 ③侵害発生国・地域におけるトレーニングセミナー受講者の有益度指数(肯定的回答の割合) ④アジア太平洋におけるWCTへの加盟国数	①著作権の普及・啓発を図るための講習会等の開催件数 ②中国・韓国等との二国間協議の回数 ③侵害発生国・地域の取締機関職員を対象としたトレーニングセミナーの実施回数 ④侵害発生国・地域の著作権法制担当者等を対象としたセミナー・フォーラムの開催回数 ⑤侵害発生国・地域における著作権普及啓発事業実施回数		著作権施策の推進	0393
		3 アジア諸国等における海賊版対策を通じて、我が国の著作物を適切に保護するための条件整備が図られる。						
		①トレーニングセミナー受講者の有益度指数 ②トレーニングセミナー受講者数	①著作権保護を推進するため、WIPO本部における著作権等関係の定例会議を着実に開催することを目標とする。 ②日本のプレゼンス向上を図るため、WIPO職員数に占める日本人職員数の割合を高める ③日本のプレゼンス向上を図るため、WIPOの幹部職員数に占める日本人幹部職員数の割合を高める。	①WIPO本部における著作権等関係の定例会議の開催回数 ②WIPO職員数(専門職以上)に占める日本人職員数の割合 ③WIPOの幹部職員数(D1以上)に占める日本人幹部職員数の割合	分担金支払義務の履行状況		著作権行政の充実	0392
			①著作権講習会の受講者の理解度が90%以上となることを目標とする。 ②過去3年間の実績値の平均数を基準とし、それを上回ることを目標としている。 ③侵害発生国・地域におけるトレーニングセミナー受講者の有益度指数(肯定的回答の割合)が90%以上となることを目標とする。 ④WIPOへの拠出金を通じて、アジア太平洋における著作権に関する世界的所有権機関条約(WCT)への加盟国数を増加させる。	①著作権講習会受講者の理解度(受講者アンケートで理解が深まったと回答した率) ②著作権講習会の受講者数 ③侵害発生国・地域におけるトレーニングセミナー受講者の有益度指数(肯定的回答の割合) ④アジア太平洋におけるWCTへの加盟国数	①著作権の普及・啓発を図るための講習会等の開催件数 ②中国・韓国等との二国間協議の回数 ③侵害発生国・地域の取締機関職員を対象としたトレーニングセミナーの実施回数 ④侵害発生国・地域の著作権法制担当者等を対象としたセミナー・フォーラムの開催回数 ⑤侵害発生国・地域における著作権普及啓発事業実施回数		著作権施策の推進	0393

施策ロジックモデル(12-4)

政策評価 (事前分析表)				行政事業レビュー						
政策 目標	施策 目標	施策の概要 (最終アウトカム)	達成目標 (中間アウトカム) 測定指標 (達成目標を図るための指標)	成果目標 (アウトカム)	成果指標 (アウトカムを図るための指標)	活動指標 (アウトプットを図るための指標)	事業名 (達成手段)	シート番号		
12 文化による心豊かな社会の実現										
12-4 文化芸術振興のための基盤の充実										
<p>4 国民の国語に関する意識と国語の現状を鑑みながら、国語の改善及びその普及を図る。また、国内に居住する外国人が日常生活に必要とされる日本語能力を身に付けるための環境が充実し、円滑な社会生活を送ることができるようになる。</p>										
<p>①「国語に関する世論調査」の全国紙5紙における掲載社数 ②日本語教育実施機関・施設等数</p>				<p>①「国語に関する世論調査」の認知度を上げ、国民への周知を図るため、全国紙5紙に掲載され取扱われるようにする。 ②「国語問題研究協議会」の参加者(学校教育に携わる国語教育関係者等)に対して満足度95%以上を目指す。</p>		<p>①全国紙5紙における掲載社数 ②「国語問題研究協議会」の参加者アンケートにおいて、受講して「大変良かった」「まあ良かった」と回答する人の割合</p>		<p>①「国語に関する世論調査」の新聞社による掲載社数 ②国語問題研究協議会の参加者数</p>	<p>国語施策の充実</p>	<p>394</p>
<p>①「日本語教育研究協議会」の参加者である日本語学習支援者等の満足度93%以上を目指す。 ②定住支援施設で日本語教育プログラムを受けた第三国定住難民の日本語能力が4段階のうち、第2段階の「かなりの助けがあれば、単語や短い文でやりとりができる」に達する人の割合において93%以上を目指す。 ③「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の日本語教室において日本語が受講前に比べて上達したと回答した人の割合90%以上を目指す。</p>				<p>①「日本語教育研究協議会」の参加者アンケートにおいて、施策説明や実践事例報告等を受講して「大変参考になった」「参考になった」と回答する人の割合 ②定住支援施設で日本語教育プログラムを受けた第三国定住難民のうち、日本語能力評価において第2段階の「かなりの助けがあれば、単語や短い文でやりとりができる」に達する人の割合 ③「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の日本語教室受講生に日本語が受講前に比べて上達したと回答した人の割合</p>		<p>①「日本語教育研究協議会」の参加者数 ②定住支援施設で日本語教育プログラムを受けた第三国定住難民の数 ③「生活者としての外国人」のための日本語教育事業における日本語教室の受講者数</p>		<p>外国人に対する日本語教育の推進</p>	<p>395</p>	
<p>5 宗教法人の日常の管理運営業務における具体的な事務処理方法等の理解を深め、適正な管理運営についての意識の向上を促進する。</p>										
<p>①宗教法人実務研修会受講者の満足度</p>				<p>宗教法人等の法人事務担当者に対し、法人運営上の実務についての研修を行う宗教法人実務研修会における受講者の満足度9割を目指す。</p>		<p>受講者の満足度(「とても有意義であった」「有意義であった」と回答する割合)</p>		<p>認証事務実施件数</p>	<p>宗務行政の推進</p>	<p>0396</p>